

公益財団法人仙台市健康福祉事業団

令和2年度事業計画

【公益目的事業】

公1	市民の健康福祉意識の醸成啓発事業、生きがいづくり支援や社会参加の促進に関する事業及び仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	251,053,000円
		費用	259,581,000円
		人件費	132,867,000円
		物件費	126,714,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種講座の開催

広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するために講演会を実施する。また、高齢者や高齢期以前の市民に対して、生きがいづくり支援や社会参加の促進を目的とした学習機会を提供する。

(1) 意識啓発講演会	年1回	シルバーセンター	自主事業		
			0	601,000	
<p>広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するとともに、2025年には65歳以上の4人に1人が認知症及びその予備軍と推計される社会情勢を踏まえ、認知機能を健全に保つための関連テーマを取り上げた講演会やシンポジウム等を開催する。</p> <p>また、脳の健康状態を維持する各種取り組みの紹介・体験を含めた関連イベントを開催し、認知機能低下予防につながる生きがい・健康づくりの活動に取り組むきっかけとなる機会の提供、意識啓発を図る。</p>					
(2) 学習機会の提供					
ア	せんだい豊齢学園公開講座	年10回	シルバーセンター	自主事業	
				300,000	※
<p>通年の学習機会に参加が難しい市民を対象に、豊齢学園事業の周知を兼ねて、地域づくりや社会参加等の必要性の理解促進、生きがいづくりやこれからの生活の更なる充実に取り組めるテーマを取り上げ、実施する。</p> <p>◆対象：50歳以上の市民 ◆回数等：50人×6講座、75人×4講座</p>					
イ	大人の未来学校	年5回	シルバーセンター	自主事業	
				133,000	286,000
<p>生きがいや健康づくり、生活設計等を通し、現在の生活と高齢期のつながりについて考える機会を持つよう、さまざまな角度からテーマを設け、講座を開催する。</p> <p>併せて、健康的で活動的な生活習慣が、介護予防及び認知機能の低下予防につながることを啓発していく。</p> <p>◆対象：概ね30～50歳代の市民 ◆回数等：30人×4回、50人×1回</p>					

※「2(1) せんだい豊齢学園事業」との共通経費

2 高齢者ボランティア等の人材養成

高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を社会に還元し、自身の生きがいをづくりに加えて、地域社会づくりの重要な担い手となるよう、高齢者ボランティア等の人材を養成する。

(1) せんだい豊齢学園事業	通年	シルバーセンター	自主事業	
			4,029,000	4,693,000
<p>高齢者世代がいくつになっても生きがいをもち、心豊かに暮らしつづけることができる社会の実現を目指し、生涯学習の機会と相互交流の場を提供する。学園修了後の社会参加活動の広がりをもつた学習プログラムとして、地域活動団体や福祉団体、行政機関等と連携した体験学習を拡充するとともに、主体的な実践活動を支援していく。</p> <p>◆開設コース：①社会活動コース（2年制） ②75歳からのアクティブライフコース（1年制）</p> <p>◆対象：①社会活動コース（2年制） 50歳～74歳の市民：80人×2学年 ②75歳からのアクティブライフコース（1年制） 75歳以上の市民：40人</p> <p>◆内容等：①社会活動コース（2年制） 第1学年 年間31日・52講座 第2学年 年間31日・49講座 ②75歳からのアクティブライフコース（1年制） 年間30日・30講座（その他受講希望制による選択科目8講座を開設） ③人材養成特別イベント（修了生向け講演会、情報交換会等の交流を通じた活動継続支援） 年間2回 ④豊齢学園・豊齢ネットワーク交流イベント 年間1回</p>				
(2) シニア学び合い講座	通年	シルバーセンター	自主事業	
			130,000	488,000
<p>高齢者が、さまざまな活動を通して蓄積した知識や技能を公開・伝承するとともに、近年急速な発展を遂げている情報通信技術（ICT）の利活用に不慣れな高齢者に向けた啓発、体験講座等を開催する。講座修了後は、学んだ知識や技能を活かしながら社会参加・貢献できるよう支援する。</p> <p>◆対象：シニア世代の市民、一般市民</p> <p>◆内容等：①高齢者の知識や技能を活用した講座 i)七夕作成指導者養成講座 15人×3回 ii)市民向け七夕作成講座 20人×1回×2期 iii)ねんりんピックミニ七夕作成講座 20人×4回×1期 ②ICT活用講座 i)新スマホサロン@仙台モデル教室 15人×2回×1期 ii)新スマホサロン@仙台 15人×2回×3期 iii)スマホサポータースキルアップ研修 30人×年4回 iv)スマホ相談会 年4回程度</p>				

3 ボランティア団体等の支援

高齢者のボランティア活動の継続・活性化を図り、地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するために、高齢者が主体となり活動を行っているグループ及び地域高齢者を対象に活動を行っているボランティア団体を支援する。

(1) せんだい豊齢ネットワーク支援	通年	シルバーセンター	自主事業	
			148,000	1,441,000
<p>個々に活動してきたシニア活動グループの交流と連携を図るために組織された「せんだい豊齢ネットワーク」（豊齢ネット）の円滑な運営とより活発な活動展開を支援し、地域での自主的な活動を促す。</p>				

<p>◆対象：豊齡ネット加入グループ</p> <p>◆支援内容：事務局運営支援（シルバーセンター内に開設する交流サロンの運営支援） 加入グループ間交流支援（代表者会議、推進会議、交流会等の開催支援） 加入グループ活動活性化支援（活動機会の提供、活動の提案やサポート） 豊齡ネット全体活動実施支援（加入グループ全体で企画・運営する各種活動のサポート） 広報支援（ホームページの開設運営支援）</p>				
(2) 仙台市ボランティア団体等先導的 事業助成（ふれあいデイホーム） 説明受付審査等業務	通年	シルバーセンター	受託事業	
			56,000	56,000
<p>主に介護保険の要介護認定を受けていない高齢者を対象に、生活指導や昼食提供等を行っているボランティア団体等の事業助成において、助成申請書類等の説明・受付・審査及び研修会を開催する。</p> <p>◆対象：仙台市より助成金交付決定を受けたボランティア団体（平成31年度実績：13団体）</p> <p>◆内容：①助成金交付説明・受付・審査（ボランティア団体からの助成金交付申請に係る書類等の説明・受付・審査） ②現地調査（助成金交付ボランティア団体の活動状況確認のための訪問調査） ③研修会等の開催（助成金交付ボランティア団体の活動支援を目的とした研修会・意見交換会の開催）</p>				

4 高齢者等の総合相談

多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、生活全般や専門的な問題に関する相談に応じる。

(1) 高齢者に関する一般相談・ 専門相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
<p>①高齢者に関する一般相談</p> <p>◆内容：高齢者やその家族が抱える生活全般に関する問題</p> <p>◆相談日：休館日を除く毎日</p> <p>◆相談方法：電話、面接 （平成30年度実績 807人）</p> <p>②専門相談</p> <p>◆内容：税務、法律、年金</p> <p>◆相談日：月1回～4回程度</p> <p>◆相談方法：面接 （平成30年度実績 161人）</p>				

※「8(1) 研修室等の貸出、温水プール等の利用提供」との共通予算

5 活動の発表の機会の提供

高齢者の生きがいがづくり支援の一環として、創作活動などの趣味やスポーツ活動の継続支援、活動意欲喚起のために発表機会を提供する。

(1) シルバー創作展	年2回	シルバーセンター等	自主事業	
			175,000	1,427,000
<p>①シルバー創作展</p> <p>高齢者に創作活動の発表の機会を提供することにより、高齢者の生きがいがづくりを支援するとともに、市民各層の高齢者に対する理解を深めることを目的として作品展を開催する。</p> <p>◆対象：市内在住又は市内勤務・通学の60歳以上のアマチュアの方</p> <p>◆部門：洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸の6部門</p> <p>◆期間：6日間</p> <p>②市民サークル等との協働創作展</p> <p>高齢者による芸術創作活動を広く市民に周知することを目的に、シルバーセンター以外の施設を会場として市民サークル等との協働作品展を実施する。</p>				

(2) 全国健康福祉祭 仙台市参加者等派遣業務	10～11月	岐阜県（開催地）	受託事業	
			13,130,000	13,130,000
<p>高齢者の生きがい創造や社会参加、世代間交流を通じ、高齢者の自立や魅力ある長寿社会づくりの契機とすべく、厚生労働省・長寿社会開発センター・開催自治体が主催する全国健康福祉祭に仙台市選手団を派遣する。</p> <p>◆大会期間：10月31日～11月3日 ◆派遣種目：卓球等20種目 ◆派遣人員：184人（役員9人含む）</p>				

6 普及啓発イベントの開催

高齢者の生きがい・健康づくりや介護予防の必要性を普及啓発するイベントを開催し、参加者自身の生きがい・健康づくりを支援するとともに、新たな活動の契機を提供する。

(1) 仙台市高齢者生きがい健康祭 仙台市・仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会・当事業団の3者共催により、健康づくりや社会参加の機会を提供し、活力ある高齢社会の実現を目的とするイベントを開催する。				
ア	市民広場交流事業	9月	勾当台公園市民広場	共催事業
	<p>高齢者支援団体等によるテントブース出展と歌や踊りを通じて健康づくり等を行っている団体等によるステージ発表のイベントを開催する。</p> <p>◆出展団体：28団体 ◆発表団体：13団体</p>			※ ※
イ	競技種目交流大会	9月～11月	仙台市内体育館等	共催事業
	<p>概ね50歳以上の方やチームを対象に、さまざまな競技種目による交流大会を開催する。</p> <p>◆対象：概ね50歳以上の方やチーム ◆開催種目：卓球等18種目</p>			※ ※
(2) 介護予防月間実施業務				
	11月	シルバーセンター等	受託事業	
			620,000	620,000
<p>仙台市では、11月を介護予防月間と定め、身近な地域で取り組む介護予防の普及啓発を目的に、全市民的キャンペーンを展開している。介護予防月間の企画・運営に携わる各関係団体による「関係団体会議」を開催し、事務局業務を担う。また、広く市民へ介護予防の普及啓発を行うためのイベントを開催する。</p> <p>①事務局業務 ②介護予防普及啓発イベント開催（講演会、健康測定・健康づくり相談、生きがいと健康づくり体験等）</p>				

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、仙台市から実行委員会へ交付される負担金にて開催する。

7 情報誌の発行

高齢者を中心とした広く市民に対して、健康福祉に関する意識啓発を図る。また、各種事業の参加者募集やシルバーセンターの紹介を行う。

(1) 健康福祉情報誌 「げんき倶楽部 杜人」の発行	年6回	年間18万部 (3万部×6回)	自主事業	
			0	37,000
<p>民間企業との共同により、生きがい・健康づくりに関する記事を掲載した情報誌を発行するとともに、オンラインマガジンとしてインターネット上に掲載し、広く情報提供を行う。</p> <p>◆仕様：A4判・16ページ・フルカラー ◆配布先：市民センター、老人福祉センター、医療機関等</p>				

(2) シルバーセンターだより 「あばいん」の発行	毎月1回	年間4万2千部 (3千5百部×12回)	指定管理事業	
			726,000	726,000
広く市民にシルバーセンターを周知するため、シルバーセンターだより「あばいん」を発行する。 ◆仕様：A3判二つ折り・両面 ◆配布先：市内の公共施設等				

8 仙台市シルバーセンターの管理運営

福祉団体等の活動活性化を図るための研修室等の貸出、高齢者等の健康保持増進を図るための温水プール等の提供、シルバーセンターの維持管理を行う。

平成27年度からは、仙台市より指定管理者としての指定を受け、「仙台市健康福祉事業団・東北共立グループ」として共同で施設の管理を行っている。

(1) 研修室等の貸出 温水プール等の利用提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			103,209,000	103,209,000
①研修室等の貸出 福祉団体等へ活動・発表の場を提供することを目的に、研修室等の貸出を行う。 (平成30年度実績 1,376件 41,670人) ②温水プール・浴室・サウナの利用提供 60歳以上の高齢者及び障害者を対象に、温水プール・浴室・サウナの利用提供を行う。 (平成30年度実績 40,609人 臨時休業1/15～2/16)				
(2) センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
①日常管理のための業務委託 警備、清掃、温水プール監視等の常駐業務の管理を行う。 ②設備の保守点検等の業務委託 空調設備、エレベーター設備、プール設備等の保守管理、交流ホール舞台設備等の保守管理を行う。 ③事務機器等の賃貸借管理 ④施設整備 小規模修繕管理、館内広報を実施する。 ⑤大規模修繕管理(仙台市予算) 仙台市が実施する非常用放送設備更新、空調設備修繕等に関し、円滑な施工ができるよう支援する。また、令和3年度に必要な大規模修繕について仙台市と協議を行う。				

※「(1) 研修室等の貸出、温水プール等の利用提供」との共通予算

公2	市民の健康づくり支援に関する事業及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	244,514,000円
		費用	246,276,000円
		人件費	149,904,000円
		物件費	96,372,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種教室の開催

生活習慣病や肥満の原因となる運動不足や不規則な食生活の改善、障害者の健康づくり、要介護状態につながる運動機能の低下を予防・改善することを目的として、各種教室を開催する。

(1) 生活習慣病予防・改善講座	年2回	健康増進センター	指定管理事業	
			40,000	40,000
生活習慣病予防、健康づくりを広く市民に啓発するため、ヘルスプロモーション啓発セミナーを実施する。 ◆内 容：生活習慣病、健康づくりをテーマにした講演会 ◆回数等：50～100人×2回				
(2) 障害者健康づくり教室	通年	地域拠点施設等	指定管理事業	
			1,029,000	1,029,000
地域拠点施設、障害者施設、支援学校等において、障害者の健康増進を目的とした教室を開催する。また、各区障害者自立支援協議会等に参加し、情報収集やネットワークづくりを行いながら、障害特性を考慮した運動プログラムや体力測定法、ツールの開発等も行う。				
① 地域拠点教室				
i) 個人対象：15人×40回×2会場（健康増進センター・シルバーセンター） 15人× 4回×6会場（太白区内） 15人× 1回×1会場（若林区内） 15人× 1回×1会場（宮城野区内）				
ii) 団体・グループ対象：10～70人程度×32回				
② 夕暮れエクササイズ				
◆対 象：若年者軽度知的障害者 ◆回数等：20人×40回×1会場				
③ 呼吸らくらくレクリエーションサークル				
◆対 象：呼吸健康教室参加者又は呼吸器疾患があり運動可能な方 ◆回数等：10人×40回×1会場				
④ 施設対象教室				
◆対 象：障害者及び施設職員 ◆回数等：8回程度×1施設				
⑤ 支援学校対象教室				
◆対 象：生徒及び教職員 ◆回数等：12回程度×3校				
⑥ 調査・研究・開発				
◆内 容：障害者健康づくり調査（社会資源・意識） 障害者健康づくり援助法の開発 障害者運動プログラム・測定評価・ツールの開発 障害者健康づくり支援システムの検討				

(3) 高齢者運動教室					
健康づくりや介護予防の啓発等を目的として、元気高齢者、後期高齢者、認知機能の低下予防に取り組みたい方等を対象に、高齢者運動教室を開催し、修了後は地域の自主サークルとのネットワークを活用し、運動の継続や社会参加を支援する。					
ア	高齢者運動教室	通年	シルバーセンター	自主事業	
				7,940,000	9,129,000
①シニア元気あっぷ運動教室 ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆回数等：33人×9クラス×4期（1期8回コース） 35人×1クラス×4期（1期8回コース） ②はつらつ運動教室 ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆回数等：25人×4クラス×4期（1期8回コース） ③きらら元気運動教室 ◆対 象：概ね60歳以上の運動可能な方 ◆回数等：60人×24回 ④いきいき脳活健幸教室 ◆対 象：満65歳以上の認知機能低下予防に興味がある運動可能な市民 ◆回数等：15人×1クラス×4期（1期8回コース） ⑤高齢者運動教室公開講座 ◆対 象：市民 ◆回数等：250人×1回					
イ	高齢者運動教室	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				1,907,000	1,907,000
①いずみシニア元気あっぷ運動教室 ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆回数等：25人×2クラス×4期（1期8回コース） ②シニアステップアップ運動教室 ◆対 象：概ね60歳以上の運動可能な市民 ◆回数等：40人×2クラス×40回 25人×1クラス×40回 ③いずみいきいき脳活健幸教室 ◆対 象：満65歳以上の認知機能低下予防に興味がある運動可能な市民 ◆回数等：20人×1クラス×4期（1期8回コース） ④いずみはつらつ運動教室 ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆回数等：25人×1クラス×4期（1期8回コース）					

2 運動支援者・指導者の人材養成

障害者の健康増進、高齢者の介護予防を支援するために必要な運動に関する知識・技術・実践力を習得した支援者・指導者の養成を目的とした研修会を開催する。

(1) 障害者運動サポーター養成研修会	年2回	健康増進センター等	指定管理事業	
			183,000	183,000
障害者の健康づくりを支援する運動サポーターのスキルアップ研修会を行う。 ◆内 容：運動実技、栄養・健康講話、専門職講話等 ◆対 象：健康づくり運動サポーター、障害者スポーツ指導員等 ◆回数等：30人×2回				
(2) 介護予防自主グループ支援事業 (介護予防運動サポーター養成研修会)	通年	区役所等	受託事業	
			858,000	858,000

<p>高齢者の健康づくりと介護予防のため、地域で自主的な運動実践を支援するサポーターを養成するための研修会を行う。また、サポーター活動を支援するとともに、サポーターのスキルアップ研修を行い資質の向上を図る。テキストを活用した共通運動メニューの普及啓発、新たに作成したCD、DVDを活用し、杜の都の体操シリーズの普及啓発を行う。</p> <p>◆対象：サポーター活動に意欲のある市民、介護予防運動サポーター（活動者）</p> <p>◆回数等：①サポーター養成研修会（5区+2支所）×8回 ②スキルアップ研修会（5区+2支所）×4回 ③スキルアップ研修会（全体会）2回 ④活動継続のための支援 随時</p>				
(3) 健康づくり運動サポーター養成研修会	年3回	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>高齢者や障害者の介護予防活動を推進及び支援する運動サポーターのスキルアップ研修会を行い、健康づくり・介護予防の資質向上と推進を図る。また、健康的で活動的なライフスタイルをいつでも、だれもが取り組める、認知機能低下予防の地域づくりを推進する支援者を養成する。</p> <p>◆内容：救急蘇生法、体力測定、運動実技、栄養・保健講話等</p> <p>◆対象：ウエルネスホープ会員</p> <p>◆回数等：50人×3回</p>				
(4) 介護予防支援者研修会	年1回	シルバーセンター等	自主事業	
			※2	※2
<p>地域で介護予防の支援活動を行っている方を対象に介護予防に関する運動実践のための知識や技術の習得を目的とした研修会を開催する。</p> <p>◆内容：講話、運動実技、援助法等</p> <p>◆対象：町内会、老人クラブ等で介護予防の支援を行っている方</p> <p>◆回数等：50人×1回</p>				
(5) 指導者研修会	年4回	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>地域や施設等における健康づくりや介護予防の指導員等向けに運動支援のノウハウやツール等を紹介・提供するための研修会を開催する。</p> <p>◆内容：講演会、研修会、活動の啓発と交流、情報提供等</p> <p>◆対象：障害者施設職員、地域の関係機関職員、運動指導員等</p> <p>◆回数等：40人×4回</p>				

※1 「(1) 障害者運動サポーター養成研修会」との共通予算

※2 「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通予算

3 健康づくりに関する相談・支援

生活習慣病の発症リスクが高い人や障害者、高齢者が主体的に継続して健康づくりに取り組むことができるように、生活習慣や運動に関する相談・支援を行う。

(1) 障害者健康づくり支援事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			※1	※1
<p>障害者健康づくり教室修了者等を対象に、必要に応じたフォローアップや継続支援（施設支援・個別支援）を行う。</p> <p>◆内容：保健・栄養指導、体力測定、運動実技、ヘルスチェック等</p> <p>◆対象：障害者施設・団体・グループ、障害者個人</p> <p>◆回数等：施設支援 8回程度 個別支援 随時</p>				
(2) 運動自主グループ活動支援事業	通年	市民センター等	自主事業	
			0	※2
<p>地域の社会資源である運動自主グループの活動継続を支援し、仙台市全体の介護予防の推進に寄与する。</p> <p>◆内容：巡回啓発支援、世話人会開催、会員募集、健康だよりの送付（情報提供）、立上げ支援</p>				

(3) 介護予防プログラム強化事業	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			232,000	232,000
<p>仙台市の介護予防施策の一環として実施される通所型短期集中予防サービス（元気応援教室）について研修会や事業見直しワーキングでの講話や指導、助言を通し、サービスの質の確保および向上を図る。また、杜の都のおトク体操シリーズの普及啓発を行い、サービスの充実につなげていく。</p> <p>①介護予防関連事業の研修会（情報交換・報告会）</p> <p>◆回数：2回</p> <p>②通所型短期集中予防サービス（元気応援教室）事業見直しワーキングでの指導・助言</p> <p>◆回数：3回</p> <p>③杜の都の体操シリーズの普及啓発に関する取り組み（体験会等）</p> <p>◆回数：(5区+2支所)×1回=7回</p>				
(4) 健康づくり支援プラン事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			2,755,000	2,755,000
<p>一人一人の健康づくりや介護予防の目的に合わせ、健康度測定による必要な検査・測定・問診を実施して作成する「健康づくり処方」をもとに「健康づくり支援プラン」を作成し、その継続実施を支援する。</p> <p>①健康づくり支援プランの作成</p> <p>◆内容：個々にあった健康づくりの実施に向けた健康づくり支援プランの作成</p> <p>◆回数等：健康づくり総合コース 4人×28回 健康づくり簡易コース・食生活コース・身体活動コース 4人×120回 からだチェックタイム 12回程度</p> <p>②支援プラントレーニング</p> <p>◆内容：支援プラン作成者を対象としたヘルスチェック、運動実技、保健指導等の継続支援</p> <p>◆回数等：142日</p> <p>③生活習慣病重症化・合併症予防事業</p> <p>◆内容：関係機関等との連携のもと、対象者へ生活習慣改善プログラムを提供し、生活習慣病重症化・合併症を予防する。</p> <p>◆回数等：i)減塩チャレンジコース 15人×1期程度 ii)減塩啓発ミニイベント 30人×6回程度 iii)重症化改善プログラム開発</p> <p>④健康相談</p> <p>◆内容：医師による健康相談</p> <p>◆回数等：月2回程度</p> <p>⑤調査・研究・開発</p> <p>生活習慣病重症化・合併症予防を目的とした生活改善プログラムについて、支援方法、ツール等の開発を行うとともに、関係機関等へのフィードバックを行う。</p>				

※1「1(2) 障害者健康づくり教室」との共通予算

※2「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

4 活動の発表の機会の提供

日頃の健康づくりや介護予防に関する活動の継続支援、活動意欲の喚起を図ることを目的に、発表機会の提供を行う。また、世代間交流を通じて介護予防への理解を広げる。

(1) はつらつ健康フェスティバル	9月	カメイアリーナ仙台 (仙台市体育館)	自主事業	
			420,000	486,000
<p>生きがい健康づくりの一環として、地域の市民センターや体育館で各種ダンス等の活動を行っているグループに対して発表の場を提供し、世代間交流を実施する。また、すべての世代に対して健康づくりや介護予防の普及啓発の場とする。</p> <p>◆内容：各種ダンス・スポーツ等の日頃の活動成果の発表、健康づくりや介護予防の普及啓発</p> <p>◆対象：仙台市内を活動拠点とする概ね15人以上のグループ、ボランティア等</p> <p>◆回数：1回</p>				

5 地域展開・普及啓発

地域や企業、障害者団体等の依頼に応じた職員派遣、教室開催等を通じて、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康増進、高齢者の介護予防の重要性の普及啓発等を行う。

(1) 出前講座						
ア	出前講座 (生活習慣病予防・改善)	通年	仙台市内	指定管理事業		
				551,000	551,000	
	<p>①健康づくり応援事業 調査・研究等で把握した健康課題を市民の健康づくりに結び付けるため、地域やイベントで各種健康づくり応援企画を実施する。</p> <p>i) 行政、職域、団体等と連携したイベントの実施 ◆内 容：減塩、たばこ（COPD）、身体活動量等の啓発 ◆回 数：3回程度</p> <p>ii) ウォーキングマップの活用 既存のマップの更新とイベントなどで市民への周知を行う。また、地域の中での健康づくりに活用されるよう、地域団体等と連携を行う。</p> <p>iii) 地域での健康づくりチェック ◆内 容：ソルセイブ（食塩含浸濾紙）、スパイロ（呼吸機能検査）、スモーカーライザー（呼気中一酸化炭素濃度測定）、体成分分析など</p> <p>iv) 職域、団体へのアンケートの実施 健康づくりに関する地域住民や職域の意識、健康課題を把握し、効果的なプログラムの作成と提案を行う。</p> <p>②健康啓発事業 生活習慣病予防を目的とし、健康づくりを啓発・支援するため、講師派遣を行う。 ◆内 容：講話、実習、運動実技、体力測定 ◆対 象：市民及び職域 ◆回 数：20回程度</p>					
イ	出前講座 (障害者の健康増進)	通年	仙台市内	指定管理事業		
				※1	※1	
	<p>①障害者団体出前講座 障害者の健康づくりを啓発・支援することを目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：保健指導、栄養指導、体力測定、運動実技、講話、ヘルスチェック等 ◆対 象：障害者、施設職員、障害者を支援する方等 ◆回 数：12回程度</p> <p>②三所連携事業 障害者総合支援センター・発達相談支援センターと連携した事業を実施する。</p> <p>i) いず☆ちゅう健幸祭 ◆内 容：講演会、栄養講座、健康づくり教室の体験等 ◆対 象：主に市民（高齢者、障害者、一般） ◆回 数：1回</p> <p>ii) 呼吸健康教室 ◆対 象：呼吸器疾患を持った障害者 ◆回数等：20人×1回</p> <p>③その他連携事業 障害者の健康づくりの啓発、実践について仙台市の機関や関係団体と連携を図り、事業を実施する。 ◆内 容：メンタルヘルスネットワーク in 仙台主催のスポーツフェスティバルの実施協力 精神保健福祉総合センターとの連携 その他障害者支援専門機関との連携 ◆対 象：施設通所者及び職員、支援者 ◆回 数：8回程度</p>					

	④ネットワーク事業 障害者を地域で支援する関係機関とのネットワーク会議に参加し、情報交換や連携を進めるとともに、様々な課題を共有し、解決に向けて協働できるネットワークの構築を目指す。			
ウ	出前講座 (高齢者の介護予防)	通年	仙台市内	自主事業 155,000 662,000
	①出前講座 介護予防の地域づくり支援を目的に職員派遣を行う。 ◆内 容：講話、体力測定、運動実技等 ◆対 象：町内会、市民センター老壮大学等 ◆回 数：15回 ②地域介護予防活動支援教室 地域の健康づくり・介護予防活動の支援を目的とした運動教室を開催する。 ◆内 容：講話、運動実技、参加者及び地域との交流等 ◆対 象：地域住民 ◆回数等：30人×24回×1ヶ所 ③ネットワーク事業 東日本大震災を契機として設立された地域で運動支援を行っている団体・個人のネットワーク組織「健康運動支援情報ネットワーク仙台みやぎ（UNDA）」に参加し、事務局を担うことにより地域の健康づくりに寄与する。また、支援者・支援団体との連絡会、研修会や連携イベント等の企画・運営を実施する。			

(2) ふれあい広場でストレッチ	年2回程度	シルバーセンター	自主事業 0 ※2	
------------------	-------	----------	----------------	--

介護予防の普及啓発、運動実践を目的とした単発の運動教室を開催する。
 ◆対 象：市民
 ◆回数等：20人×2回程度

(3) 被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	通年	復興公営住宅 集会所等	受託事業 630,000 630,000	
--------------------------	----	----------------	---------------------------	--

被災高齢者を対象として、閉じこもりや生活不活発病を予防し、生活機能の維持・改善を図るとともに、新たな交流の場を提供することを目的とした運動教室を開催する。
 ◆内 容：講話、運動実技等
 ◆対 象：復興公営住宅や周辺に住んでいる被災高齢者及びその家族等
 ◆回数等：①復興公営住宅 12回×1ヶ所
 ②フォロー 5回×7ヶ所
 ③打合せ 3回×5ヶ所

(4) 介護予防体操、運動道具の普及・販売	通年	—	自主事業 ※3 ※3	
-----------------------	----	---	-----------------	--

①介護予防体操の普及
 安全で気軽にできる体操「杜の都のおトク体操」シリーズの普及を行う。
 ②運動道具の取次販売
 運動自主グループへの運動道具の取次販売については、ニーズがないため休止する。

- ※1 「1(2) 障害者健康づくり教室」との共通予算
- ※2 「1(3)ア 高齢者運動教室」との共通経費
- ※3 「(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通予算

6 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業 77,910,000 77,910,000	
---------------	----	----------	-----------------------------------	--

市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理する。

公3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供を行う事業	収益	56,496,000円
	費用	58,432,000円
	人件費	34,909,000円
	物件費	23,523,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 介護講座の開催

家庭で実際に介護をしている方や市民等を対象に、介護に必要な知識や技術の習得を目的とした介護講座を開催する。

(1) 市民向け介護講座	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			10,890,000	10,890,000

<p>①介護1日講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学ぶ講座 ◆回数等：40人×6回 <p>②認知症を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：認知症を理解し、医学的な知識や社会資源の活用、地域での支援を学ぶ講座 ◆回数等：60人×4回 <p>③ターミナルケアを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：看取りについての理解を深め、その支援等を学ぶ講座 ◆回数等：60人×2回 <p>④テーマ別介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：テーマ毎に介護についての考え方や介護の知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：60人×5回、40人×3回 <p>⑤土曜介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：平日の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：40人×3回 <p>⑥地域介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：市民センター等と共同で開催する、介護の知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：30人×3会場 <p>⑦介護ナイター講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：日中の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：40人×3回 <p>⑧働く方の介護入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：働き盛りの方を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆回数等：30人×3回 <p>⑨知って役立つ福祉用具講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座 ◆回数等：15人×6回 <p>⑩学校向け介護体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：高齢者、障害者、認知症の方への理解を深めたいと考えている小学校・中学校・高校に出張して行う講座（高齢者疑似体験、車いす体験、認知症の方との接し方） ◆回数等：随時 <p>⑪福祉用具体験講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：10人以上の希望する団体を対象とした、福祉用具の選び方・使い方等を学ぶ講座 ◆回数等：随時 				
---	--	--	--	--

<p>⑫「福祉用具の日」・「介護の日」記念行事</p> <p>◆内 容：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念して、セミナー・講演会の開催、福祉用具の特別展示を行う。</p> <p>◆回 数：1回</p>
--

2 介護職の人材養成

介護職を対象に、認知症高齢者をはじめとした要介護者の介護に必要な知識や技術の修得・向上を目的とした講座を開催する。

(1) 認知症介護研修	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			9,126,000	9,126,000
<p>介護職員等を対象に、認知症高齢者を介護するために必要な知識や技術の修得・向上を目的とした研修を開催する。</p> <p>①認知症介護基礎研修 認知症高齢者の介護に必要な基礎的な知識・技術を実践する考え方を身につけ、基本的なサービス提供ができるようにする。 ◆内 容：講義演習1日 ◆対 象：仙台市内の介護保険施設・事業所等の認知症ケア業務従事者又は従事予定者 ◆回数等：50人×2回</p> <p>②認知症介護実践者研修 施設、在宅に関わらず、認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得する。 ◆内 容：講義演習5日、職場実習4週間、中間報告会1日、実践報告会1日 ◆対 象：実務経験2年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：70人×4回</p> <p>③認知症介護実践リーダー研修 ケアチームにおける指導的立場として実践者の知識・技術・態度を指導する能力及び実践リーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する。 ◆内 容：講義演習9日、職場実習4週間、報告会1日 ◆対 象：実務経験5年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：36人×1回</p> <p>④認知症対応型サービス事業管理者研修 認知症介護サービスを提供する事業所を管理運営していくために必要な知識・技術を修得する。 ◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：地域密着型サービス事業所の管理者又は管理者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：24人×2回</p> <p>⑤小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 利用者及び事業の特性を踏まえた介護事業計画を作成するために必要な知識と技術を修得するための専門的な研修を実施し、介護サービスの質の向上を図る。 ◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者又は計画作成担当者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆回数等：20人×1回</p>				
(2) キャラバン・メイト養成研修・スキルアップ研修	年2回	シルバーセンター	※	※
<p>①キャラバン・メイト養成研修 認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを養成する。 ◆内 容：認知症の症状、認知症の人と接するときの心構え、認知症サポーター養成講座の運営方法等 ◆対 象：地域包括支援センター職員、認知症介護実践リーダー研修を修了した者等 ◆回数等：30人×1回</p>				

<p>②認知症パートナー講座指導者養成研修（キャラバン・メイトスキルアップ研修）</p> <p>グループワークや認知症当事者（経験専門家）からの講話等を通して、認知症パートナーやその活動について理解し、今後の認知症パートナー講座の開催・運営方法を学ぶ。</p> <p>◆内 容：グループワーク、経験専門家の講話、他の地域の取り組み、認知症パートナー講座の今後の展開について</p> <p>◆対 象：キャラバン・メイト等</p> <p>◆回数等：60人×1回</p>			
(3) 難病患者等ホームヘルパー養成研修	—	—	—
<p>仙台市における事業の再構築に伴い、休止。</p>			
(4) 介護職スキルアップ研修	年12回	シルバーセンター	自主事業
			2,038,000
			2,068,000
<p>介護業務に必要な知識・技術の習得及び意識の高揚を図り、介護職としての資質向上を図る。</p> <p>◆内 容：介護技術実習、認知症の理解と対応、ターミナルケア、精神疾患の理解と対応等</p> <p>◆対 象：市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆回数等：45人×5回、70人×1回、80人×2回、90人×4回</p>			
(5) 介護福祉士国家試験 事前実技試験講習会	—	—	—
<p>介護福祉士の資格取得方法の改正に伴い、実技試験受験者の申し込みが見込めないため休止。</p>			
(6) 生活支援訪問型サービス事業 従事者等養成研修 (生活支援介護サポーター養成研修)	年4回	シルバーセンター	受託事業
			1,439,000
			1,439,000
<p>介護の基本的な知識や技術を修得し、生活支援訪問型サービス事業の訪問支援員として必要な生活援助サービスを提供できる人材を養成する。</p> <p>◆内 容：職務の理解、尊厳の保持・自立支援、介護の基本、加齢・老化等に伴う心身の変化、コミュニケーション技術、生活支援等（講義・演習2日間）</p> <p>◆対 象：介護の基本的な知識・技術を学ぶ意欲がある方、生活支援訪問型サービス事業所訪問支援員として従事する予定の方</p> <p>◆回数等：60人×4回</p>			

※「(1) 認知症介護研修」との共通予算

3 介護に関する相談、情報提供

高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、在宅介護や福祉用具、高齢者の保健福祉サービス等に関する相談、情報提供を行う。

(1) 介護に関する相談、情報提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
<p>①介護に関する相談</p> <p>要介護者やその家族等を支援するために、福祉用具や介護に関する相談に対応する。</p> <p>◆相 談 日：シルバーセンター休館日を除く毎日</p> <p>◆相談方法：電話、来所</p> <p>②図書等の閲覧・貸出</p> <p>介護、福祉用具、保健福祉サービス等に関する情報を提供するほか、図書・DVD（約1,300点）の閲覧・貸出を行う。</p> <p>③福祉用具の展示</p> <p>◆常設展示：ベッド、床ずれ予防関連用品、排泄用品、生活自助具、車いす等約500点</p> <p>◆特別展示：10月1日の「福祉用具の日」、11月11日の「介護の日」を記念した福祉用具の特別展示（認知症関連機器等）</p>				

※「1(1) 市民向け介護講座」との共通予算

4 地域展開・普及啓発

学校、企業、町内会等の団体からの依頼に応じた講師派遣、講座の企画・実施を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護に必要な知識・技術の普及啓発を行う。

(1) 認知症サポーターの養成等	通年	シルバーセンター	受託事業	
			※1	※1
<p>認知症についての正しい知識普及、認知症の人や家族の応援、地域における見守り・理解者となる認知症サポーター等の養成、情報交換会を開催する。</p> <p>①認知症サポーター養成講座事務局運営 認知症サポーター養成講座の開催を希望する学校、企業等からの依頼に応じて、養成研修を修了したキヤラバン・メイトの派遣や教材手配を行う。</p> <p>②認知症パートナー講座 認知症サポーター等を対象に、地域で活躍するために必要な知識・情報をさらに習得するための研修を開催する。認知症の人と一緒に行動できる理想のパートナーについて、グループワーク等を通じて考える。 ◆内 容：本人・家族の思い等に関するグループワーク・インタビュー、仙台市の社会資源と認知症パートナーの活躍場所の紹介等 ◆対 象：市内の認知症サポーター等 ◆回数等：60人×2回</p> <p>③認知症サポーター情報交換会 認知症サポーター等を対象に、地域の最新情報の共有とつながりを広げる場を提供する。 ◆内 容：取り組みの好事例の紹介、お互いの取り組みについての情報交換等 ◆対 象：市内の認知症サポーター等 ◆回数等：60人×1回</p>				
(2) 職域等向け介護研修	随時	—	自主事業	
			30,000	※2
<p>介護に必要な知識・技術の習得を目的に、職域等（企業、商店組織、介護サービス事業者等）からの希望に応じた研修を企画・開催する。</p>				

※1 「2(1) 認知症介護研修」との共通予算

※2 「2(4) 介護職スキルアップ研修」との共通経費

公4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査を行う事業	収益 466,539,000円 費用 466,539,000円 人件費 374,198,000円 物件費 92,341,000円
--------------------------------	---

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

(1) 要介護認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			89,911,000	89,911,000
<p>仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査を行う。</p> <p>◆調査見込件数：37,626件</p> <p>①仙台市 36,926件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回申請 14,939件 ・更新申請 17,955件 ・区分変更・再調査 3,732件 ・介護扶助 300件 <p>②他市町村等 700件</p>				
(2) 障害支援区分認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			2,430,000	2,430,000
<p>仙台市及び他市町村等から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査を行う。</p> <p>◆調査見込件数：1,770件</p> <p>①仙台市 1,769件</p> <p>②他市町村等 1件</p>				

【収益事業】

収 1 仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	80,530,000円
	費用	76,060,000円
	人件費	13,384,000円
	物件費	62,676,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位 ; 円、費用 ; 物件費)

1 仙台市シルバーセンターの管理運営

(1) 研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			62,676,000	62,676,000
①福祉団体等以外への研修室等の貸出 福祉団体等が未使用時において、使用料を徴収し、一般団体に貸出を行う。 (平成 30 年度実績 1,450 件 42,679 人)				
②高齢者等以外への温水プール・浴室・サウナの利用提供 60歳以上の高齢者及び障害者以外の方を対象に、温水プール・浴室・サウナの利用提供を行う。 (平成 30 年度実績 3,977 人)				
③公益目的事業以外に係るセンターの維持管理業務				

収 2	生活習慣病予防・改善講座及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	31,440,000円
		費用	31,440,000円
		人件費	18,042,000円
		物件費	13,398,000円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 生活習慣病の予防・改善に関する講座

(1) 健康づくり推進事業	通年	健康増進センター	自主事業	
			509,000	509,000
<p>健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者について、身体状況把握、効果測定などを目的とし、尿・血液検査を行う。また、身体活動量の目安把握のための歩数計配付や講座用の材料提供を行う。</p> <p>◆対 象：健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者</p> <p>◆回数等：尿・血液検査 100人 尿検査 110人 歩数計配付 40人 栄養講座材料提供 120人</p>				
(2) 健康づくり講座	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			207,000	207,000
<p>働き盛りの世代のうちから肥満や運動不足、食事バランスの偏り、喫煙等の生活習慣の改善を促し、将来の疾病を予防することを目的とした講座を実施する。</p> <p>①ヘルスアップセミナー（個人向け）</p> <p>◆内 容：高血圧、たばこ（COPD）、栄養、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、睡眠や休養等のテーマ毎の講話と運動、調理等テーマに沿った実技・実習</p> <p>◆回数等：15～30人×14回程度</p> <p>②ヘルスアップセミナー（団体向け）</p> <p>◆内 容：職域団体へのニーズ調査に基づいたプログラムの作成、生活習慣病予防（身体活動、栄養、睡眠や休養）に関する講話や運動実技</p> <p>◆回数等：20人×2回程度</p> <p>③メタボリックシンドローム予防教室</p> <p>◆内 容：メタボリックシンドローム予防改善に関する講話、運動実技等</p> <p>◆回数等：20人×2期（1期2回コース）</p>				

2 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) 施設の利用提供 センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			12,682,000	12,682,000
<p>①施設の利用提供</p> <p>公益目的事業未使用時に使用料を徴収し、健康づくりの場として施設の利用提供を行う。</p> <p>◆対 象：16歳以上で運動可能な方</p> <p>②施設利用サポーターの養成・活用</p> <p>施設の利用提供において利用者が増加し、高齢者や障害者の割合が高くなっている状況を踏まえ、利用者の安全性確保と利便性向上を図るため、施設利用サポーターを養成し、その活用を行う。</p> <p>◆対 象：健康づくり運動サポーター</p> <p>③公益目的事業以外に係るセンターの維持管理業務</p>				